

県立並木中等教育学校【総合的な学習の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

<p>1 建学の精神・教育理念をもとに、生徒に科学的素養や国際感覚、高い学力を身に付けさせるとともに、「人間力」を備えた次世代を担うリーダーとして育成する。</p> <p>2 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）校として、本校の教育の柱の一つの科学教育を推進するとともに、グローバル社会が求める新しい教育を追究・実践し、全国に誇れる中等教育学校を目指す。</p> <p>3 キャリア教育の視点のもと、全ての教育活動を展開し、進学指導を一層充実させ、高い志の実現、海外の大学も視野に入れた生徒の進路実現を目指す。</p>
---

総合的な学習の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>&lt;新しい時代に必要となる資質・能力を育成する&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>能動的な学びができる人間力を備えたグローバルリーダーを育成する。</li> </ul> <p>SSH、アクティブ・ラーニング、課題探究、ICTの効果的活用を工夫し、生徒の「思考力・判断力・表現力等」の能力を育てる…探究力 論理力 表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縦割り活動を通して、生徒が協働して学ぶ態度やリーダーシップを育てる…お互いへのリスペクト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら設定した課題に対して、主体的な態度で解決しようとしている。</li> <li>他者との協働的学びを通して、情報収集能力を高めると共に、多面的・多角的なものの見方を身に付けている。</li> <li>表現や発表の仕方を工夫してまとめ、他者に分かりやすく伝える技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な生徒ならびに保護者との電話連絡や家庭訪問</li> <li>月1回の年次主任会を通じた情報共有と対応策の検討</li> <li>生徒や保護者を対象とした面談の年間活動への位置付け</li> <li>スクールカウンセラーや外部機関との連携</li> </ul>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人と集団による思考活動を通して、自身が解決していこうとする課題を具体的に設定する。</li> <li>文献やインターネットの資料を活用し、必要な情報を取捨選択しながら、課題解決に生かすことのできる情報を収集する。</li> <li>海外からの訪問生との交流の機会を設定し、国際的視野をもつと共に、他国の文化に触れることで多文化理解と共生の意識を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間コーナーの設置…生徒の考察過程や発表内容等を掲示し、探究の成果を公表すると共に、他者のよさを調べ活動に生かせるようにしている。</li> <li>活動内容の広報…各年次とも、年次通信等を活用し、家庭での探究活動への協力依頼や学習</li> </ul>	<p>○1年次</p> <p>キャリア教育「働くことを知る」</p> <p>探究活動「ミニ課題探究Ⅰ～探究の基礎を身に付ける～」</p> <p>○2年次</p> <p>キャリア教育「働くことの意味を考える」</p> <p>探究活動「ミニ課題探究Ⅱ～探究の方法を工</p>

<p>2年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs等、国際的指標としての課題解決目標等について知り、実社会の課題解決に生かすことのできる探究方法を活用する。</li> <li>・課題解決の過程で、定期的に他者との情報交換の時間を設定し、生徒同士による探究内容や方法についての研磨を行う。</li> <li>・体験的活動を計画的に実施し、キャリア教育や探究活動により必要性や切実性をもたせられるようにする。</li> </ul>	<p>成果の発表を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携…近隣研究所や公的機関(市役所等)との協力体制を構築し、生徒と研究所をつなげる。情報収集等、課題解決のために活用。</li> <li>・SSH第3期の前期課程を取り込んだ活発な運用によって更なる科学教育の重点的取り組みを行う。</li> </ul>	<p>夫する～」</p> <p>○3年次</p> <p>キャリア教育「自身の進路を考える」</p> <p>探究活動「ミニ課題探究Ⅲ～探究の成果を生かす～」</p>
<p>3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の仕方を工夫し、様々な発表形式(パソコンでの発表、ポスター発表等)をとることで、プレゼンテーション能力を高める。</li> </ul>		<p>(1) 知識及び技能 各教科で学んだ内容を総合的に活用し、身近な疑問や国際社会との関連させた問題の解決を通して、多面的・多角的な課題解決の手段と結果を理解する力を身に付ける。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力等 探究の過程で、目的と仮説、考察との整合性を意識しながら、検証方法と結果の表現の仕方を身に付ける。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性等 考察・検証した結果や学んだことを、実際の生活に積極的に活用するなど、よりよい社会を築いていくための基礎的な態度を身に付ける。</p>